

次期町長選挙に岡崎町長の出馬は



臼井 幹夫 議員

岡崎町長は、来年2月9日で任期満了を迎える。池田町長としての約16年間、少子高齢化・人口減少社会を迎えるなか、持続可能な町として堅実な財政運営は評価している。町長は行政を熟知し、国・県へのトップセールスマンとして実行力とスピード感で町政を担っているが、4期16年間、特にこの4年間の町政を総括していただきたい。

町長

平成15年2月10日、町長に就任以来16年間、町議会等、町民の皆様の温かい御支援、御理解及び御協力により、無事に町政経営ができた。この間には様々な御意見をいただき、その都度原点到立ち戻り、反省し、まちづくりを誠心誠意進めてきた。

【主な事業】

1期目 平成の大合併の推進中で、公約は「まちづくりは人づくり」として、温知小学校、温知保育園の移転改築。幼保一元化と児童館開設。
2期目 財政の健全化と企業誘致、町民の融和を図る。30人学級を小学校3年生まで拡大。全保育園の冷房化。医療費

無料化を中学校3年生まで拡大。
3期目 福祉のまち・教育立町・観光立町を推進した。医療費無料化は18歳まで拡大。医療機関（内科）の誘致。道の駅開駅。八幡小学校の全面改築。宮地・養基小学校の冷房化。

4期目 人口減少、少子高齢化が急速に進展した。少子化対策（新生児への支援、病児病後児保育体制の充実等）。子育て就労応援センター・八幡児童館を新設。大野町と学校給食センターの共同設置。養老鉄道の存続。ふるさと納税の推進。

財政面 1期目の最終年の財政調整基金は9億円、起債残高は183億円。2期目に財調基金は16・5億円、起債残高は164億円。3期目に財調基金18億円、起債残高は165億円。4期目中に財調基金は15・8億円、起債残高は165億円を推移。※財政調整基金は貯金、起債残高は借金である。

これら以外に第4次及び第

5次総合計画に掲げた事業は80%を推進した。

岡崎町長は、来年の町長選挙に出馬意向があるのか。決意があるならば、5期目の政策を伺いたい。

町長

人口減少が進み、同時に社会構造や経済構造も大きく変化し、高齢化率も35〜40%に向かう状況となる。

これらを踏まえ、2020年からの第6次総合計画を策定する予定であり、この中でも安心できるまちづくりが必要となる。防災面を含め、福祉、教育、観光立町のまちとして、「まちづくりは人づくり」を基本として、持続可能なまち、財政健全化を目指し、池田町がいつまでも輝き続けられるまちの創造に、今一度、池田町の皆様に御支援いただけるのであれば、今までの経験、知識を生かして、再度挑戦し、町政経営を担わせていただきたい。

防犯カメラの設置と状況は？

今、事件や事故があった場合、あらゆる場面で防犯カメラで、解決されている事が多くある。そんな中で、池田町の防犯カメラの設置状況と今後の設置はできないか？

町長

今池田町では公共施設や小学校内外を含め97ヶ所設置しながら公共施設、あるいはその周辺においてのいろいろな面で監視をして、その都度警察との連携をとりながら、パトロールで対応や地域の皆様方にお願している現状。今後いろいろと周辺の状況を考え、警察等の関係機関との協議を踏まえ、安心安全ということを考えながら、今後検討していく。



役場玄関の防犯カメラ